

23/6/19 名古屋市議会本会議（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

議長：ただいまより、定例会を開会いたします。

最初に諸般のご報告をいたしておきます。

委員会条例第2条の2第3項ただし書きの規定に基づき、6月16日付で、議長において、金城ゆたかくんを総務環境委員会から経済水道委員に、失礼いたしました総務環境委員から経済水道委員に、北角嘉幸くんを、経済水道委員から総務環境委員にそれぞれ委員会に所属を変更いたしました。

河村市長：去る6月3日名古屋城バリアフリーに関する市民討論会を開催いたしました。バリアフリーにおきましては、名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募を実施し、昨年の12月に最優秀者を選定してまいりましたが、公募の結果発表後、私のところには、直接多数の市民の方から様々な意見が寄せられることとなりました。

さてバリアフリー法などの趣旨を尊重することは当然なことでありますが、一方で、建築時基準法の逐条解説には、「国宝などの文化財は、先人が我々に伝えて貴重な財産であり、これを保存し、後世に伝え、あるいはその活用を図って、国民ひいては世界の文化に寄与することを我々の任務である」と。我々の任務であると、明確に書かれておりまして、私もその任務を背負っていると認識しております。

バリアフリー法などの趣旨、そしてこの任務を踏まえ、市長として判断すべき無作為抽出した市民5000人に対し、5000名に対してアンケートを実施し、今一度私が直接市民の方の意見を伺うために、市民討論会を実施したところでございます。

アンケートにご回答いただき、その中で市民討論会への参加を希望された方のうち当日は36名の方にご参加をいただきました。ところが当日、参加された一部市民の方から他の参加者の方に対して差別発言があり、私をはじめその場にいた職員もそうした発言の制止や注意喚起という対応を行いませんでした。

一人目の方には、制止といったのかよくわからない、喧嘩みたいになりましたね。

まずいよということを職員が駆けつけていったのは私は見ております。

発言を受けた方は大変心を痛められたと思いますし他の参加者の方や動画配信をご覧になっていた多くの方にも不快な思いを抱かせることになったと思います。

この場をお借りしまして改めてお詫びを申し上げます。

市民討論会の市側の対応についてしっかりと検証を行い、再発防止に向けて全力で取り組んでまいります。

また、市民一人一人の人権が尊重され、差別や偏見がない人権感覚に優れた人間性豊かなまち名古屋の実現を目指して、市を上げて人権政策の推進に取り組んでいく所存でございます。